

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

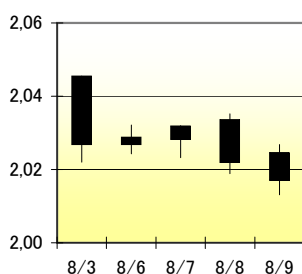


## 1. マーケット・レート

			8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0270	2,0280	2,0220	2,0170	2,0150	-0,0020
	USD/YEN	Spot	78,22	78,65	78,49	78,59	78,27	-0,3200
	EUR/USD	Spot	1,2411	1,2407	1,2360	1,2294	1,2293	-0,0001
	BRL/YEN	Spot	38,59	38,78	38,82	38,96	38,84	-0,1200
Swap	Dollar Clear	6MTH(p.a.)	1,79	1,45	1,36	1,37	1,41	+0,0441
		1Year(p.a.)	2,43	1,77	1,67	1,67	1,70	+0,0301
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,30	7,29	7,25	7,33	7,30	-0,0301
		1Year(p.a.)	7,40	7,38	7,44	7,38	7,47	+0,0928
Stock	Bovespa		58.345	57.726	58.951	58.797	59.281	+483,80
Bond	CDS Brazil 5y		129,68	125,10	125,00	126,32	127,35	+1,0250
	Global 40		128,875	129,500	129,500	129,500	129,125	-0,3750

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



ボベスパ指数月次チャート



CRB商品指数月次チャート



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
なし				

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は US\$1=R\$2.0290 で寄り付いた。
- 週初は夏休みシーズン入りの影響で市場参加者が限られる中、レアルは 2.02 台半ばから後半で終日限定的なレンジに止まった。
- 週中には欧州の経済指標が予想を下回ったことが嫌気され、ユーロが下落。レアルも連れて大きく下落し、週間安値となる US\$1=R\$2.0350 を付けたが、大口の資金流入が噂されると、2.02 台前半まで大きく反発した。
- 週末にかけては米新規失業保険申請件数が予想を下回り、株式市場や商品市場では買いが優勢となり、レアルは 2.01 台へ買い進まれた。
- 10 日には中国の 7 月の輸出が予想を下回る結果となったことから世界的に景気が悪化しているとの見方が強まりリスク資産の売りが優勢となった。レアルも 2.02 台まで売られたが、中国当局による追加刺激策への期待が強まると、レアルは買いが先行、週間高値となる US\$1=R\$2.0120 を付けた後は小緩み、結局 US\$1=R\$2.0150 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

**Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A****5.来週発表される主要経済指標**

日付	イベント	予想	前回
8/13	貿易収支(FOB)-週次	--	\$458M
8/16	FGVインフレ率-IGP-10(前月比)	--	0.96%
8/16	FGV CPI IPC-S	--	0.40%
8/16	小売売上高指数(前月比)	-0.4%	-0.8%
8/16	小売売上高指数(前年比)	5.7%	8.2%
8/16	広義小売売上高(前年比)	--	4.2%
8/17	FIPE消費者物価指数(週次)	--	0.16%

**6.来週の為替市場注目点****予想相場レンジ : 2.00~2.05**

今週は夏休みシーズンの関係で市場参加者が少なく値動きが限定的となった。中国の輸出総額が予想を下回ったことから全世界的に経済成長が鈍化していることが再確認され、リスク資産の売り傾向はこれからも続くであろう。来週は欧米を中心に景気関連指標が引き続き多く発表される他、ECBによるスペインやイタリアの国債購入に関する詳細発表や、中国当局による追加刺激策が期待される。為替市場では引き続き流動性が低く止まることが予想され、予期せぬイベントで荒い値動きとなる可能性があることから注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department